

天吊カセット形スタンダードタイプ

〈単相 100V〉

形名

- LGH-15CS₃-TK LGH-35CS₃-TK
- LGH-25CS₃-TK LGH-50CS₃-TK

取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に、この取付工事説明書をよくお読みください。

取付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。

■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。納入仕様書等により別途ご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

分解禁止
改造や必要以上の分解をしない
火災・感電・けがの原因になります

浴室取付禁止
浴室など湿気が多い場所には、本体・コントロールスイッチとも取付けない
感電および故障の原因になります

指示に従い必ず行う
定格電圧、制御容量範囲内で使用する
間違った電圧で使用すると、火災・感電の原因になります

指示に従い必ず行う
外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ
新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります

本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで
落下によりけがをすることがあります

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。取付工事が終わったら、この説明書とともに、お客さまに必ずお渡しください。

端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する
接続に不備があると火災のおそれがあります

配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります

漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する
漏電した場合火災のおそれがあります

金属製ダクトがメタルラス張り・ワイヤラス張り・ステンレス板などの金属と、電気的に接続しないように取付ける〔電気設備の技術基準 解釈 第167条3項〕
接続されていると、漏電した場合火災の原因になります

注意

禁止
高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には取付けない
火災のおそれがあります

禁止
機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には取付けない
絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります

指示に従い必ず行う
塩害・温泉害などの発生している場所には取付けない
絶縁劣化による漏電火災や故障の原因になります

指示に従い必ず行う
本体から室外側のダクトは室外に向かって下りこう配（1/30以上）になるように取付け、断熱処理を確実に
雨水の浸入による漏電・火災や家財の損傷のおそれがあります

コントロールボックスカバーは施工後、必ず閉める
ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります

取付け後、長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります

吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する
指定以外のものを使用すると、落下の原因になります

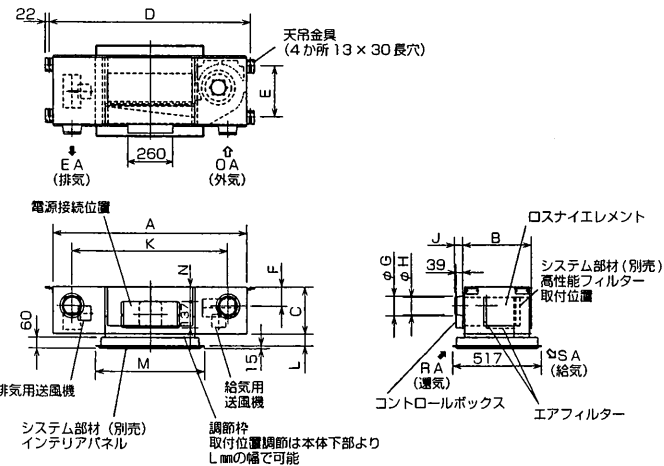
取付けの際は手袋を着用する
着用しないとけがの原因になります

お願い

- 高温多湿（30℃以上の時、相対湿度が80%以上）になる地域や霧の多発地帯で使用する場合、エレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下では使用できませんので、耐湿形ロスナイをご使用ください。
- 天井材は共鳴しにくい材質をご使用ください。
- 風の強い地域や室内外の圧力差がある場合には運転停止時に外風が侵入することがありますので、給・排気ダクトの途中に電動ダンパーを設けることをおすすめします。
- 外気条件および天井裏温度湿度条件によっては本体表面およびダクト接続部が結露・結氷するおそれがあります。断熱材の重ね貼りの追加工事を実施してください。
- 給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- 給気側、屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下でのご使用の場合には、別売の虫侵入防止用部品（受注対応品）などを取付けることをおすすめします。（室内給気へ小さな虫が侵入するおそれがあります）
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

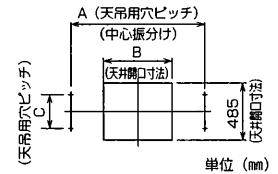


外形寸法図



■天井開口寸法図

天井面を天井開口寸法に従って開口する。

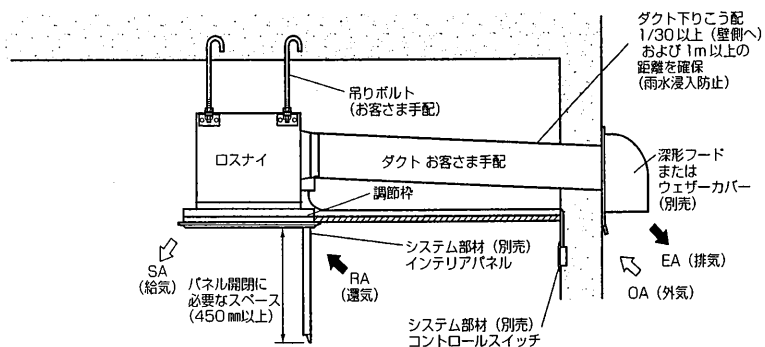


形名	変化寸法表		
	A	B	C
LGH-15Cタイプ	1162	590	288
LGH-25Cタイプ	1162	590	288
LGH-35Cタイプ	1399	670	360
LGH-50Cタイプ	1649	920	360

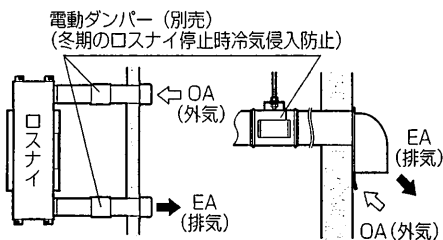
※本機種の外側(OA側)ダクトは方向変更できません。

形名	外形			天吊金具 ビット		ダクト接続フランジ					ダクト ビット	スライド 幅	インテリアパネル	コントロールボックス	質量 (kg) (本体のみ)	インテリアパネル形名
	A	B	C	D	E	呼び	F	G	H	J	K	L	M	N		
LGH-15Cタイプ	1118	391	268	1162	288	φ100	108	110	97.5	53	900	65~150	630	58	18	PZ-125CP ₅ またはCPZ ₅
LGH-25Cタイプ	1118	391	268	1162	288	φ150	108	160	142	63	900	65~150	630	58	18	
LGH-35Cタイプ	1357	467	330	1399	360	φ150	137	160	142	63	1055	50~150	710	100	28	PZ-35CP ₅ またはCPZ ₅
LGH-50Cタイプ	1605	467	330	1649	360	φ200	137	208	192	78	1305	50~150	960	100	32	PZ-50CP ₅ またはCPZ ₅

標準取付例



■電動ダンパー (寒冷地・冬期のロスナイ)

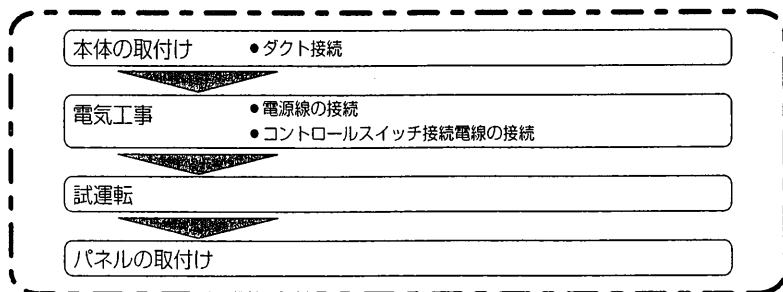


寒冷地・外風の強い場所では、ロスナイ停止時における外気（冷気）侵入防止として、電動ダンパーの併用をおすすめします。

お願い

- 室内（天井裏）の相対湿度40%以上の場合は、ダクト工事などに結露防止用として使用する断熱材を調整枠外周のスライド部分に貼付け（現地施工）使用ください。

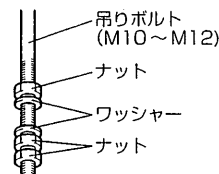
■取付工事の流れ



本体の取付け

●システム部材（別売）インテリアパネル（天吊カセット専用）の取付工事説明書もあわせてご覧ください。

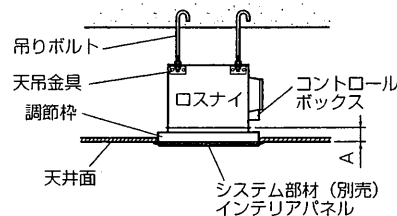
1



吊りボルトにワッシャー・ナットを取付ける

あらかじめ埋め込んである市販の吊りボルト（M10～M12）に左図のように市販のワッシャー（外径M10で21mm以上、M12で24mm以上）・ナットを取付ける。

2



本体を固定する

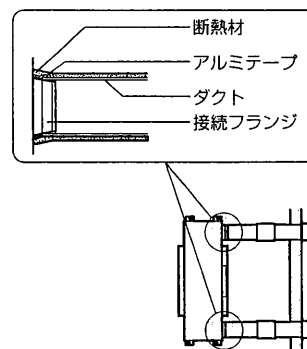
- 1 天吊金具を吊りボルトに引掛け本体が水平になるよう調節する。
- 2 ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締付ける。

お願い

- 本体を吊り上げるとき、コントロールボックスは持たないでください。
- 調整枠は上下に可動します。天井面より本体下面までの長さ（A）を左図に示す範囲になるように、本体を固定してください。

形名 (タイプ)	A
LGH-15・25Cタイプ	65以上 150以下
LGH-35・50Cタイプ	50以上 150以下

3



ダクトを接続する

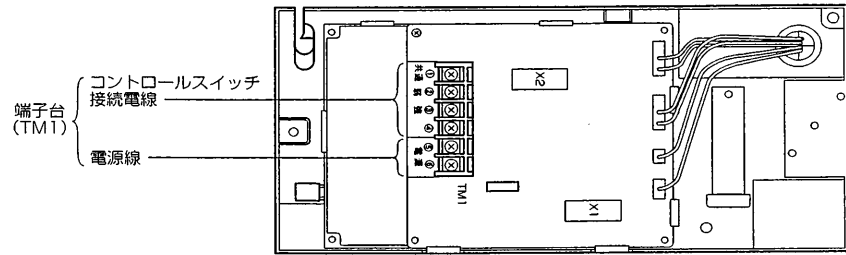
- 1 ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れのないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
- 2 ダクトはロスナイ本体に力が加わらないよう天井から吊る。
- 3 室外側ダクト2本（外気・排気ダクト）には、結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物（紙・ビニールなど）が入っていないことを確認してください。

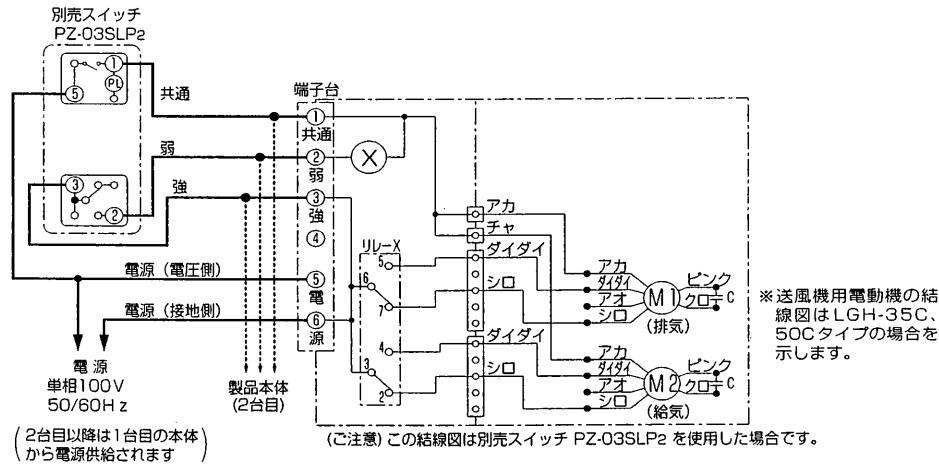
電気工事

コントロールボックス内部の名称



結線図 ※太線および破線部分を結線します 漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

●ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は、100m以内としてください。
(誤動作するおそれがあります)



電源は1つの漏電ブレーカーから供給する

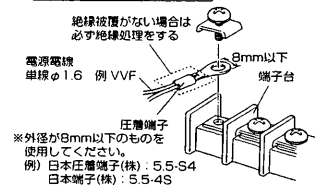
各ロスナイに漏電ブレーカーを1個ずつ設置すると、漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ、漏電ブレーカーがしゃ断する可能性があります。

端子台接続時のご注意

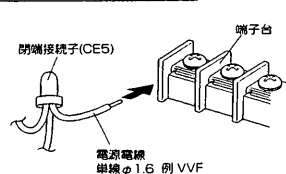
⚠ 注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続する。
使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります

圧着端子 接続例



閉端接続子 接続例



複数台運転可能台数

PZ-03SLP2 1台で下表の同一機種複数台運転ができます。

形名	台数	異機種組合せ指数
LGH-15CS3-TK	10	0.1
LGH-25CS3-TK	6	0.16
LGH-35CS3-TK	5	0.2
LGH-50CS3-TK	4	0.25

メモ

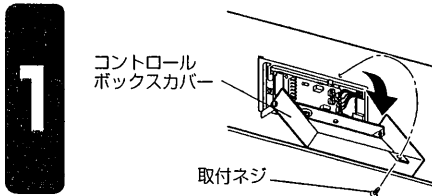
- 異機種組合せ複数台運転については、コントロールスイッチのカタログ・仕様書を参照ください。
- 組合せたい製品の指数を合計して1.0まで使用できます。

〈例〉

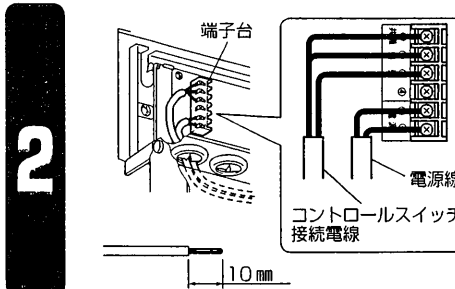
LGH-15RS3-TK×4台	0.11×4=0.44
LGH-25RS3-TK×1台	0.14
LGH-25CS3-TK×1台	0.16
LGH-50CS3-TK×1台	0.25
7台	0.99

1.0以下であり運転可能

電源線の接続のしかた



ネジ1本を取りはずして、コントロールボックスカバーを開ける



電源線およびコントロールスイッチ接続電線(単線φ1.6 例 VVF)は結線図を参照し、コードプッシュを通して端子台に接続する

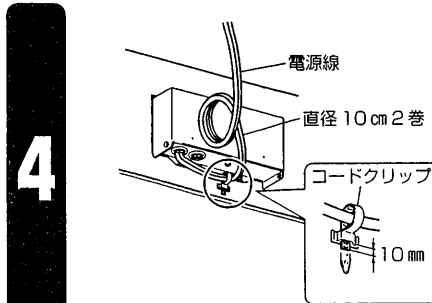
お願い

- 電線の皮むき寸法は10mmとしてください。皮むき寸法が長すぎると、芯線同士が接触して短絡するおそれがあります。

3

コントロールボックスカバーを取付ける

- 結線が終わったら、元どおりコントロールボックスカバーを取付ける。



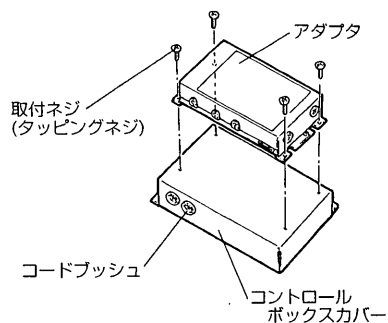
電源線・コントロールスイッチ接続電線を配線する

- ①電源線に余裕を持たせコードクリップAで締付け固定する。
- ②コードクリップAの余り部分を左図のように10mm程度のところで切断する。

お願い

- 電源線に余裕がないとメンテナンスができなくなります。

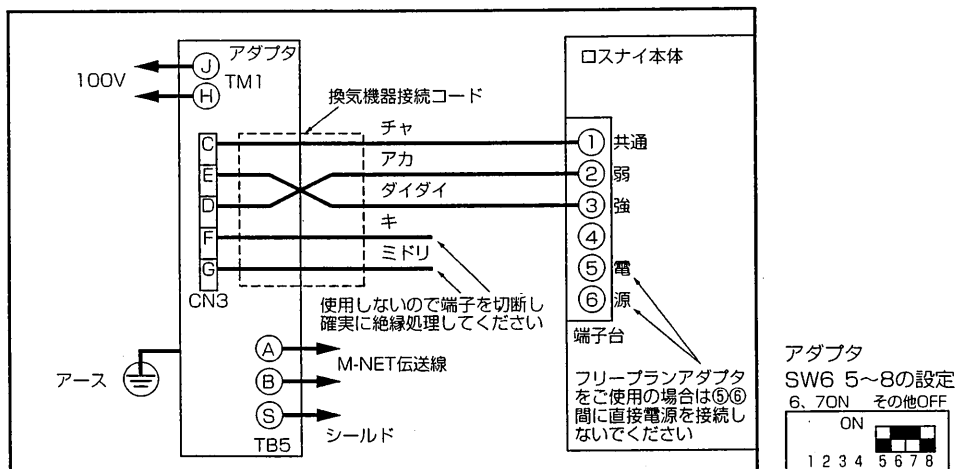
システム部材（別売）フリープランアダプタ（PZ-53ADF）使用の場合



集中管理システム等でフリープランアダプタを取付ける場合は左記の位置に取付けることができます。詳しくはフリープランアダプタの取付工事説明書をご覧ください。

1. コントロールボックスカバーを取りはずす。
2. システム部材（別売）フリープランアダプタ付属ネジ（タッピングネジ）でアダプタをコントロールボックスカバーに固定する。
3. コントロールボックスカバー内側に出たネジ先端にフリープランアダプタ付属のネジキャップを取付ける。

結線図



1 必ず元電源（ブレーカー）を「切」の状態です次の確認を行う。

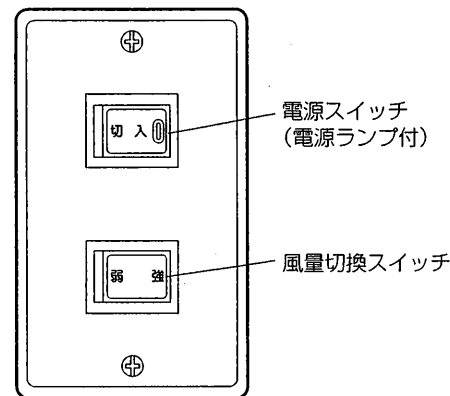
項目	手順
① コントロールスイッチ	電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「弱」にする。
② 抵抗の測定（ロスナイ本体）	ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て抵抗を測定する。0Ω（1Ω以下）であれば誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。

2 元電源を入れ次の確認を行う。

システム部材（別売）
コントロールスイッチ
（PZ-03SLP2）

電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強・弱」切り換えたとき、ロスナイの給・排気の風が強・弱に切り換わるか確認する。

- コントロールスイッチに付属の取付工事・取扱説明書もあわせてご覧ください。



パネルの取付け

システム部材（別売）インテリアパネルの取付工事説明書に従って取付ける。

試運転

本体の取付工事が終わりましたら、天井板を張る前に結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

組合わせ表

電源	本体形名	コントロールスイッチ形名
単相 100V	LGH-15~50CS3-TK	PZ-03SLP2

■ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、分電盤のブレーカーが作動します。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は再生紙を使用しています。